

文芸コーナー

短歌

俳句

さはやかなる五月の日ざし一面に吸ふごと若苗そよぐわが町は
沼の辺に咲く谷うつき見てあたり山霧静かに頭上をよぎる
女王花と云うも一夜の命なり月下美人を酒精にて保つ
から梅雨と思ひたれども一雨に庭の紫陽花色深みゆく
芝野ゆくわが足音に鶴鶴はつゆ草ゆらし低く飛び立つ

加藤恵美子選

田口 三石選

大森 五十嵐まささを
原山 入江 葉子
木刈 渡辺 敏子
小倉台 川上 謙一
大森 石井 章夫

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート



広報レポーター：渡邊 信一 (若萩)

いまなお残る伝統の神事

本笠の天王様(戸崎)

本笠の天王様は八坂神社に由来を持ちます。この天王様は中根(日本笠村)の戸崎地区に伝わり、室町時代まで遡ると伝えられています。毎年7月15日に行われるこのお祭りは、八坂神社のご神体を神主が神事により、丁寧に神輿に移した後、その神輿を大人たちが担ぎ、子どもたち(小学生以下)が引く木製の太刀と共に戸崎地区の家(約60戸)を一軒一軒回り、厄払いを行う伝統行事です。



▲戸崎の八坂神社での「たまいれ」の神事。この後、ご神体が神輿に移されます



▲子どもたちが持つ木製の太刀は地面に打ちすえ厄払いをおこないます
▲大人が担ぐ神輿をお囃子の車にぎやかな音色で応援

天王様の一行は1時間くらい、各戸を練り歩きます。途中、休憩所(全3カ所)があり、そこで茶菓や御神酒のもとなしを受け、神輿を担ぐ大人たちも英気を養い、神輿の動きは益々激し

くなってきました。もちろん子どもたちの太刀部隊もお菓子で元気いっぱいになります。午後2時ごろから始まったこのお祭りは、戸崎地区の家全部を回った後、鳥見

神社に戻り、大人たちがご神体を元に戻すころには、夜9時を回る事もあるそうです。この祭りでは、若い女性の神主さんがお祓いだけでなく全行程を一緒に回っていました。これで各家に配られた「天王様のお札」の効果も確かなものになるでしょう。機会あれば秋の大和神楽(鳥見神社の神楽)もぜひ見てみたいと思います。

施設がいに



広報レポーター：美馬 光美 (戸神台)

牧の原学校給食センター

今月はジョイフル本田の裏にある、ピンク色の外観が特徴的な牧の原学校給食センター(牧の原2-5)をご紹介します



▲市の花コスモスの色をした外観の牧の原学校給食センター

印西市の学校給食は、木下小学校の自校調理室のほか、全部で5つの給食センターが対応しており、ここ牧の原学校給食センターは、現在6校の中学校(印西中・船穂中・木刈中・小林中・原山中・西の原中)1、856食を作っています。調理の様子を見学させていただきました。



▲栄養士さんが考えた献立を、調理員さんが丹精込めて調理



に900人分を調理する事ができる大きな釜へ、次々と下ごしらえされた材料や調味料が投入され、真っ白い湯気が立ち上る中、調理員さんが手際よく混ぜ合わせていました。

後でこの日の給食、鰯のゴマだれ焼、みそドレッシングサラダ、高野豆腐の田舎煮を試食させてもらいました(上写真参照)。野菜をたくさん取れるメニューで、とてもおいしかったのですが、残念ながら野菜が多いメニューは、あまり人気がないそうです。

安全で、栄養バランスが良く、おいしい地場産物を使った学校給食...なんだか中学生がうらやましいですね。
▲牧の原学校給食センター(☎4700)。

リサイクル情報広場

掲載情報は7月30日現在
☎グリーン推進課グリーン推進班(☎内線383)

- ◆ゆずりませ情報(有料の物は希望価格)
①三面鏡②防災頭巾③小林北小学校体操服(ズボン)④柔道着⑤印西しおん幼稚園体操服一式⑥プリンタ用詰め替えインク⑦プリンタ用インクカートリッジ⑧印旛中学校女子・制服(18号、20号)、体操服(Lサイズ)、ブラウスなど⑨シングルベット⑩犬の洋服⑪船穂中学校女子制服・ジャージ。
◆さがしています情報
①わだ幼稚園男児、園服および体操服②ロックミシン③大森小学校の体操服④印西中学校の女子用制服と運動着⑤しおん幼稚園男児、女児用ジャージ、男児、女児用体操服(大きめサイズ希望)⑥天神幼稚園男児、女児制服、ブラウスなど⑦犬用乳母車⑧補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

